

「平成24（2012）年川崎市10大ニュース候補一覧」

1月(January)

1 専修大学サッカー部、全日本大学サッカー選手権大会で優勝

全日本大学サッカー選手権大会で専修大学が初優勝を果たし、大学日本一となりました。2011年に関東リーグで2部から1部に昇格して、初出場で初優勝の快挙を達成しました。

2 川崎市・東大・日本IBMが基本協定締結、かわさき新産業創造センターで研究開発

川崎市・東京大学・日本IBMの3者の間で、東京大学社会連携講座の実施に関する基本協定を結びました。新川崎の「かわさき新産業創造センター（KBIC）」で超微細技術（ナノ・マイクロ技術）の研究開発に連携して取り組みます。

2月(February)

3 『川崎国際環境技術展2012』をとどろきアリーナで開催

2月10日・11日に市内企業等の優れた環境技術を世界に情報発信し、国際的なビジネスマッチングの場を提供する「川崎国際環境技術展2012」を開催しました。海外から23カ国が参加し、136団体が226ブースを出展。2日間で約13,500人の来場者がありました。

4 『毎日映画コンクール』表彰式開催、森山未来さん男優主演賞、小泉今日子さん女優主演賞

2月13日に、「第66回毎日映画コンクール」の表彰式が「チネチッタ」で行われました。『モテキ』で男優主演賞の森山未来さん、『毎日かあさん』で女優主演賞の小泉今日子さん、他にも三谷幸喜監督などが表彰されました。

3月(March)

5 『リサイクルパークあさお王禅寺処理センター』が完成

川崎市北部地域のごみ処理施設である「リサイクルパークあさお王禅寺処理センター」が完成しました。特徴として、焼却に伴い発生する廃熱を利用した高効率発電設備を設け、公害防止等の面からもこれまでにない厳しい管理値をクリアできる高度な設備を有しており、低炭素社会の構築や環境保全に貢献する施設となっています。

6 『岡本太郎美術館』入館者100万人突破

芸術家岡本太郎の作品などを展示する岡本太郎美術館の入館者数が、100万人を突破しました。岡本太郎美術館は、岡本太郎に関する展示品だけでなく、様々な企画展を開催することも魅力のひとつであり、現在は1930年代から戦後にかけて活躍した画家・漫画家「小野佐世男」の企画展を開催しています（2013年1月14日まで）。

7 国立医薬品食品衛生研究所、キングスカイフロント（殿町3丁目）への移転が決定

医薬品や食品の安全性などの調査・研究を行う国立医薬品食品衛生研究所が、国際戦略総合特区に指定された川崎臨海部のキングスカイフロント（川崎区殿町3丁目）に移転することが決まりました。今後もキングスカイフロントへの企業・研究機関等の集積を進め、ライフサイエンス分野の研究開発拠点となることを目指します。

4月(April)

8 政令指定都市移行40周年、川崎・幸・中原・高津・多摩区区制40周年を迎える

川崎市が、昭和47年4月1日に人口98万人で指定都市に移行してから、今年で40年になりました。当時の5区（川崎区・幸区・中原区・高津区・多摩区）では、区制40周年を迎え、「区の花」「区の木」の制定、記念誌の発行や記念イベントの開催などを行いました。

9 麻生区に『明治大学黒川農場』が開場

川崎市麻生区に環境・自然・地域との共生をめざした新時代の農場として「明治大学黒川農場」が開場しました。今後は黒川農場を農業技術・多目的交流機能を持つ拠点施設に位置づけ、大型農産物直売所「セレサモス」と連携し、地域の活性化に寄与することが期待されます。明治大学は同月、「地域産学連携研究センター」を開設、新産業の創出や産学連携の促進も期待されます。

10 川崎マリエン展望室、巨大ジオラマをリニューアル

川崎マリエンが開館20周年を迎え、地上52メートルにある展望室のジオラマを一新しました。航空写真をもとに立体模型を配置したジオラマを、直径5メートルの円状で床面に設置し、上空から眺めているような感覚を楽しむことができます。

11 学校給食用の冷凍ミカンから、微量の放射性物質を検出

学校給食に使用する食材の放射能濃度を検査した結果、神奈川県産の冷凍ミカンから放射性セシウムが検出されましたが、国の安全基準を下回るものでした。

12 アジア交流音楽祭・アジアンフェスタ開催、台湾・韓国のアーティストも出演

4月14日から2日間、「かわさきアジアンフェスタ」と「音楽のまち・かわさき アジア交流音楽祭」を開催し、アジア屋台村やタッチラリーなども行われました。教育文化会館などでSHOWやパク・ジョンミンなどの台湾・韓国のアーティストが出演し、ファンを魅了しました。

13 川崎フロンターレに風間監督就任

川崎フロンターレでは、監督に元・筑波大学サッカー一部監督の風間八宏氏が就任しました。

14 最新鋭のプラネタリウムを導入した『かわさき宙（そら）と緑の科学館』がオープン

青少年科学館が「かわさき宙（そら）と緑の科学館」としてリニューアルオープン。最新鋭のプラネタリウム「メガスターⅢフュージョン」はリアルな夜空を体感でき、人気を集めています。また、東口ビジターセンターも開設し、生田緑地の魅力がより一層高まりました。

15 かわさき新産業創造センター新館『NANOBI C（ナノビック）』供用開始

「新川崎・創造のもり」において、かわさき新産業創造センター新館「NANOBI C（ナノビック）」の研究棟が供用開始し、大学や企業が入居しました。9月にはクリーンルーム棟も供用開始し、大学と企業が連携して、世界最先端の超微細技術（ナノ・マイクロ技術）の研究開発が行われます。

5月(May)

16 新百合ヶ丘で『アルテリッカしんゆり2012』が開催、約22,000人来場

麻生・多摩区で「川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2012」が開催され、全日程で約22,000人が来場しました。スターダンサーズ・バレエ団の「シンデレラ」、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席奏者による「室内楽の午後」、「オペラ・ガラ・コンサート」など魅力的な演目が上演されました。

17 井田病院が新しくなり、新棟で診療を開始

施設老朽化のため改築し、新棟で5月1日から診療を開始しました。がん治療の強化、救急医療の強化といった医療機能の充実のため、新しい医療器械や電子カルテを導入、高度な医療の提供や効率化を図りました。全面開院は、平成26年度の予定です。

18 オリンピック陸上競技の代表選考会を兼ねた『セイコーゴールデングランプリ川崎』開催

ロンドンオリンピックの陸上競技の代表選考会を兼ねた「セイコー・ゴールデングランプリ川崎」が、等々力陸上競技場で行われ、男子やり投げでディーン元気選手が優勝するなど、熱戦が繰り広げられました。

19 川崎港と中国青島港等を結ぶ新規コンテナ定期航路新設

川崎港と中国山東省青島港などを結ぶ新規コンテナ定期航路が、中国船社「海豊国際航運有限公司（SITC）」によって開設されました。川崎港の新規コンテナ航路は12年ぶりで、コンテナの取扱量が増加しました。10月には、川崎港と中国上海港等を結ぶコンテナ定期航路も開設されました。

20 『ソウル国際音楽コンクール』バイオリン部門で毛利文香さんが優勝

韓国で行われた「ソウル国際音楽コンクール」バイオリン部門で、洗足学園高校3年の毛利文香さんが優勝しました。

21 ラゾーナ川崎と隣接した東芝の『スマートコミュニティセンター』新設を発表

東芝は、スマートコミュニティ事業体制の強化を目的に「スマートコミュニティセンター」をラゾーナ川崎に隣接する堀川町に、設立すると発表しました。2013年10月に開所予定です。

22 川崎市と中国・瀋陽市との間で『環境先進都市づくり協力に関する覚書』を締結

友好都市である瀋陽市から訪問団が訪れ、川崎市と瀋陽市は、環境産業分野での協力を推進するため、「環境先進都市づくり協力に関する覚書」に調印しました。今後、専門家の交流や情報交換の仕組みづくりなど環境先進都市に向けた協力を推進していきます。

6月(June)

23 重症患者救急対応病院として、川崎幸病院開業

北米型の救急救命室（ER）を導入し、症状が悪化した患者への高度な治療を行う「急性期病院」として川崎幸病院が幸区に開院しました。9月には、市から「重症患者救急対応病院」の指定を受けました。

24 夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダに待望の赤ちゃん誕生

夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダ「アン」と「ファファ」の夫婦に、待望の赤ちゃんが生まれました。同園のレッサーパンダの赤ちゃん誕生は13年ぶりです。

25 かわさきエコ暮らし未来館、来館者数20,000人超え

地球温暖化、再生可能エネルギー、資源循環を体験学習できる「かわさきエコ暮らし未来館」は、昨年8月にオープンしてからわずか8ヶ月で年間目標だった来館者数15,000人を達成し、6月には20,000人目の来館者を迎えるなど、好評を博しています。

7月(July)

26 宮前区と麻生区、区誕生30周年を迎える

昭和57年7月1日に高津区及び多摩区の分区により、宮前区及び麻生区が設置され、今年で30周年を迎えました。区誕生30周年記念事業として、宮前区ではキャラクター「宮前兄弟」や「みやまえカルタ」の作成、麻生区では「区の花」ヤマユリ、「区の木」禅寺丸柿の選定などを行いました。

27 川崎市とデンマーク大使館、経済交流で覚書を締結

川崎市とデンマーク大使館は、環境や福祉の分野に力を入れているデンマークとの交流を促進するため、「経済産業交流に関する覚書」を締結しました。環境、廃棄物処理、福祉、医療、新エネルギー、デザインなど各産業分野の企業間連携の促進や相互の発展が期待されます。

28 ビーチバレー男子の朝日・白鳥ペア、オリンピック2大会連続出場

ビーチバレーオリンピック代表選手の強化拠点である川崎マリエンビーチコートで、ビーチバレーのロンドンオリンピック男子代表決定戦が行われ、朝日健太郎選手と白鳥勝浩選手が快勝、オリンピック2大会連続出場を決めました。

29 ロンドンパラリンピック射撃競技に瀬賀亜希子選手が2大会ぶりに出場

ロンドンオリンピックに続いて開催される障害者のオリンピックであるロンドンパラリンピックの射撃競技の代表として、麻生区の瀬賀亜希子選手が2大会ぶりの出場を決めました。

30 民間初、災害時の帰宅困難者一時滞在施設に昭和音大を指定

川崎市と昭和音楽大学は、災害時に帰宅困難者の一時滞在施設として昭和音大の南校舎を使う協定を結びました。民間の施設では初めての指定となり、被災時の備蓄としてトイレや飲料水などを常備しています。

31 川崎商工会議所の新会館（川崎フロンティアビル）が川崎駅東口に完成

川崎駅東口に川崎商工会議所の新会館として「川崎フロンティアビル」が完成しました。また、10月には、フリーオフィスのインキュベータ施設として「KCCIインキュベータ」がオープンしました。

8月(August)

32 国際一輪車競技大会で、野尻彩加さんと下山和大さんが優勝

川崎市一輪車協会加盟クラブの選手が、国際大会や全日本大会で活躍しました。特に、国際一輪車競技大会ではフリー部門で野尻彩加さんと下山和大さんが優勝し、他の7部門でもクラブ所属の選手が準優勝するなどの活躍が見られました。

33 救急医療や高度先進医療を提供する新百合ヶ丘総合病院開業

麻生区に新百合ヶ丘総合病院が開院しました。救急医療と小児科、産婦人科が設けられているほか、脳神経外科など約30の診療科目に対応しています。陽電子放射断層撮影装置（PET）や手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」などの最新鋭の高度先進医療機器も備えています。

34 ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得した立石諒選手に『川崎市スポーツ特別賞』

中原区のNECグリーンズスイミングクラブ玉川所属の立石諒選手が、ロンドンオリンピックの競泳男子200メートル平泳ぎで銅メダルを獲得しました。その栄誉をたたえ、川崎市から「川崎市スポーツ特別賞」を贈りました。

35 川崎市立橘高校、女子バレーボールにおいてインターハイ初優勝

全国高校総合体育大会（インターハイ）が富山県で行われ、川崎市立橘高校が初優勝を果たしました。神奈川県勢では36年ぶりであり、市立高校としては初の優勝という快挙でした。

36 医師が現場に出動できるドクターカー試行運用開始

川崎市消防局と日本医科大学武蔵小杉病院は、医師が毎日午前9時から午後5時までドクターカーで現場に出動できる救命救急活動の試行運用を開始しました。

37 『フェスタ サマーミュージアKAWASAKI』約11,000人来場

昨年と同様、市内の音楽大学（洗足学園音楽大学、昭和音楽大学など）などのホールを利用して「フェスタ サマーミュージアKAWASAKI」を開催しました。全13公演で合計約11,000人が来場し、好評を博しました。

38 桐光学園高校野球部、夏の甲子園でベスト8

第94回全国高校野球選手権で、桐光学園高校野球部創部以来初のベスト8入りを果たしました。1試合22奪三振など、松井裕樹投手（2年）が多くの記録を残したのをはじめ、攻守とも最後まであきらめない姿が市民を沸かせました。

39 川崎市制記念多摩川花火大会に約21万人訪れる

政令指定都市移行40年記念事業として、「川崎市制記念多摩川花火大会」が高津区河川敷で開催され、約6,000発の花火が打ち上げられ、約21万人の観客が花火を見物しました。

40 『かわさき水ビジネスネットワーク』設立、官民連携で国際展開

川崎市と民間企業が連携し、関係省庁・団体の協力も得て、水ビジネスを推進するためのプラットフォームとして「かわさき水ビジネスネットワーク」を設立しました。今後は世界の水環境改善への貢献を目指して、国際展開を進めます。

9月(September)

41 ドラえもん誕生前100年、藤子ミュージアム開館1周年で特別住民票発行、1週間で9万ダウンロード

9月3日、ドラえもん誕生前100年と藤子・F・不二雄ミュージアムの開館1周年を記念して、川崎市からドラえもんに「特別住民票」を交付しました。ミュージアムでは、8月16日に来館50万人を突破するとともに、市のホームページからダウンロードされた特別住民票は1週間で9万件にのぼるなど、盛り上がりを見せました。

42 ニヶ領用水、選奨土木遺産に認定

川崎市内を流れる農業用水路「ニヶ領用水」が、公益社団法人土木学会から、市内初となる選奨土木遺産に認定されました。

43 全国U-15ボクシング大会35kg級、幸町小学校の徳本琉聖君優勝

全国U-15ボクシング大会35kg級で、幸町小学校6年の徳本琉聖君が優勝しました。昨年の32.5kg級に続く二階級制覇となりました。

44 シニア軟式野球チーム「川崎ドリーム」、全日本還暦軟式野球大会で全国制覇

川崎市のシニア軟式野球チーム「川崎ドリーム」が、全日本還暦軟式野球選手権大会で優勝しました。平成21年に神奈川県勢として初優勝を飾り、今回で2回目の優勝となりました。

10月(October)

45 ザルツブルク・リューベックとの友好都市提携20周年

ザルツブルク市とリューベック市は、友好都市になって20周年を迎えました。10月にはザルツブルグ市長が川崎市を訪れ、今後の交流と協力に向けた確認書の調印を行いました。

46 中原区区制40周年として、市内9年ぶりとなる『NHKのど自慢』開催

中原区区制40周年を記念して、市内では9年ぶりとなる「NHKのど自慢」がとどろきアリーナで開催されました。当日は舟木一夫さんや長山洋子さんがゲストで登場し、2,500人以上の観覧者が訪れ、予選を勝ち抜いた20組が歌声を披露しました。

47 専修大学や日本女子大学の学生が地域と連携して商品開発、市の魅力アップに貢献

専修大学、日本女子大学の学生が、「かわさき宙と緑の科学館」のリニューアルオープンにちなんだ商品を開発しました。また、専修大学の学生が北部市場内で調達した食材を利用した「市場スイーツ」を開発し、市の魅力アップに貢献しました。

48 日本音楽コンクール・クラリネット部門、川崎市の勝山大舗さん2位、太田友香さん3位

日本音楽コンクールの本選会が東京オペラシティで開催され、クラリネット部門で川崎市の勝山大舗さんが2位、太田友香さんが3位に入りました。

49 『カワサキハロウィン』の国内最大級のパレードに10万人の観客

16回目となる「カワサキハロウィン」が開催され、10月28日にはメインイベントである国内最大級の仮装パレードが行われました。今年は、川崎駅前の大通りのパレードに約3,000人が参加、10万人の観客が訪れました。

11月(November)

50 川崎市文化賞などにより、垣内悠希さんら6人と専修大学サッカー部を表彰

川崎市文化賞の表彰式が国際交流センターで行われ、文化賞に江頭秀夫さん、和田あき子さん、社会功労賞に萩原保夫さん、間瀬実さん、スポーツ賞に専修大学サッカー部、アゼリア輝賞に垣内悠希さん、毛利文香さんを表彰しました。

51 『モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2012』を開催

世界三大ジャズフェスティバルの一つである「モントルー・ジャズ・フェスティバル」の理念を引き継いで、11月16日から24日の間で、ライブコンサートを開催しました。国内外の一流アーティストによるワークショップやジャズアカデミーなども同時に開催しました。

52 『2012川崎国際多摩川マラソン』が開催、応募殺到で3日で締切に

「2012川崎国際多摩川マラソン」が等々力陸上競技場及び多摩川河川敷マラソンコースで開催され、5,869人が参加しました。全種目において大会が始まって以来最短の3日で定員に達し、応募が締め切られるという人気の大会となりました。

53 等々力陸上競技場メインスタンドの改築に着手

11月末より、等々力陸上競技場メインスタンドの改築工事に着手しました。工事期間中は仮設スタンドを設置してJリーグの試合等に使用しながら工事を行い、平成26年度末の完成を目指し整備を進めます。

12月(December)

54 川崎駅北口自由通路の整備に向けて、市とJR東日本で施行協定締結へ

JR川崎駅の東京側に整備される北口自由通路について、平成29年度の供用開始に向け、市とJR東日本の間で施行協定を締結する予定です。北口自由通路の整備と併せて、新たな改札口や商業施設の開設も予定されています。

55 『川崎市長杯争奪2012国際トランポリンジャパンオープン』が開催

海外の有力選手も出場するトランポリンの国際大会である『川崎市長杯争奪2012国際トランポリンジャパンオープン』が、12月15日から16日にかけて等々力アリーナで開催されます。